



Section 5 課題コースを走らせよう

展開

段階	学習活動	教師の指導・支援	資料
導入	<p>前時の確認をする。</p> <p>本時の学習課題を知る。</p>		自己評価シート (エケル)
展開	<p>課題コースの概要について確認する。</p> <p>課題コースを走らせるために必要なロボットの動作（プログラム）について考える。</p> <p>ロボットワークスを起動し、プログラム作成、テスト走行、プログラム改良を行う。</p> <p>現時点でのプログラム等の問題点（次回の課題）を考え、発表する。</p>	<p>課題コース の特徴をしっかり把握させる。</p> <p>テキスト P31 のセンサーブロック工場を見ながら、どのセンサーをどのように使ったらよいかを考えさせる。</p> <p>実際の課題コースを見ながら考えさせる。</p> <p>テキスト P34 「割り込み」や、 P36 ~ 「設定」についても補足しておく。</p> <p>前回の評価及び自己評価等をもとにした個別、グループ別支援も行っていく。</p> <p>問題点を具体的にあげさせ、解決策を考えさせる。</p> <p>解決のヒントとなる考え方を助言したり、プログラムの例を紹介したりする。</p>	<p>学習シート</p> <p>課題コース（実物）、テキスト、学習シート</p> <p>説明用ソフトウェア</p> <p>パソコン、ロボットワークス、リダホン、テキスト</p> <p>学習シート</p>
まとめ	<p>本字の学習を振り返り、自己評価シートに入力する。</p>	<p>問題点、疑問点も本時の自己評価シートに入力させる。</p>	自己評価シート (エケル)